

[トップページ](#) > [ニュースリリース](#) > [2026年](#) >[三井化学、細胞設計・製造プラットフォームを開発するiOrgan Bioへ出資](#)日本語 ⇄ [English](#)

三井化学、細胞設計・製造プラットフォームを開発する iOrgan Bioへ出資

2026.10.29

三井化学株式会社

三井化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：市村 聡、以下「当社」）は、当社のコーポレートベンチャーキャピタルファンド（CVC）である321Catalyst™を通じ、iOrgan Bio, Inc.（本社：米ノースカロライナ州、CEO：Daniel Delubac、以下「iOrgan Bio」）へ出資を実行したことをお知らせいたします。

iOrgan Bioについて

iOrgan Bioは、ヒト細胞やオルガノイドの設計・製造を通じて、創薬や再生医療の研究開発を支援する米国発のバイオテクノロジースタートアップです。AI、シングルセル解析、ロボティクスを活用した独自の細胞設計・製造技術により、目的とするヒト細胞やオルガノイドを均一かつ再現性高く製造するプラットフォームを開発しています。これにより製薬企業やバイオテクノロジー企業に対し、新薬候補をよりヒトの体内に近い環境で評価するための細胞モデルの設計や、細胞治療の研究開発に必要な細胞の製造などを支援しています。

iOrgan Bio 会社概要

会社名	iOrgan Bio, Inc.
-----	------------------



所在地	米国ノースカロライナ州 モリスビル
最高経営責任者 (CEO)	Daniel Delubac
設立	2024年12月
事業内容	細胞設計・製造プラットフォームの開発
URL	https://iorgan.bio 

出資目的

iOrgan Bioは、創薬や再生医療に用いるヒト細胞・オルガノイドを均一な品質で効率的に製造するプラットフォームを独自に構築しています。当社は、細胞培養容器InnoCell™をはじめとする素材の設計・開発技術を提供します。両者の技術を組み合わせ、細胞が安定して生育・機能する培養環境を最適化することで、品質の向上や、これまで製造が難しかった細胞・オルガノイドの実現を目指します。

今後は、これらを用いた薬効・安全性評価など、動物実験を補完・代替する新たな創薬支援技術や、培養に適した関連素材の共同開発を検討します。

当社はiOrgan Bioとの協業を通じて、創薬プロセスの効率化と細胞治療・再生医療の発展に貢献し、いのちと健康、豊かなくらしを支える新たなソリューションの創出を目指します。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部



[三井化学、細胞設計・製造プラットフォームを開発するiOrgan Bioへ出資\(PDF : 479.3KB\)](#)

ニュースリリース

[トップページ](#) > [ニュースリリース](#) > [2026年](#) >

[三井化学、細胞設計・製造プラットフォームを開発するiOrgan Bioへ出資](#)

[三井化学について](#)

[事業・製品](#)

[研究・開発](#)

[サステナビリティ](#)

[株主・投資家情報](#)

[採用](#)



[サイトマップ](#)

[サイトのご利用について](#)

[個人情報及び特定個人情報の保護について](#)

[リンクについて](#)

[最新情報をご覧いただくには](#)

[ソーシャルメディアご利用規約](#)

[よくあるご質問](#)